

【ダイワファンドラップ専用投資信託】

ダイワファンドラップ 日本株式セレクト

追加型投信／国内／株式

信託期間：平成19年11月1日 から 無期限

基準日：2015年7月31日

決算日：毎年6月15日(休業日の場合翌営業日)

回次コード：3780

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《基準価額・純資産の推移》

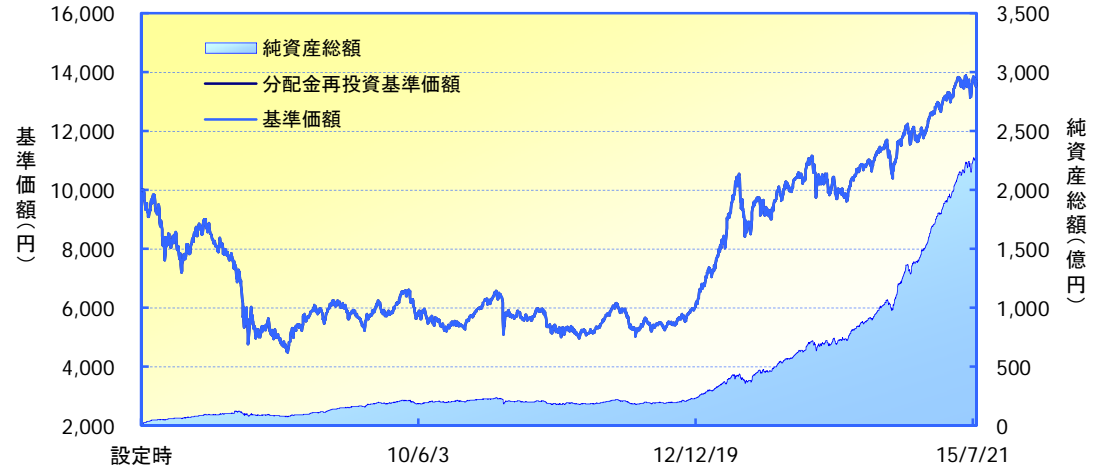
当初設定日(2007年11月1日)～2015年7月31日

2015年7月31日現在

基準価額	13,693 円
純資産総額	2,272億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+1.3 %
3カ月間	+2.8 %
6カ月間	+14.2 %
1年間	+24.1 %
3年間	+154.8 %
5年間	+142.0 %
年初来	+12.8 %
設定来	+36.9 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (08/06)	0円
第2期 (09/06)	0円
第3期 (10/06)	0円
第4期 (11/06)	0円
第5期 (12/06)	0円
第6期 (13/06)	0円
第7期 (14/06)	0円
第8期 (15/06)	0円
分配金合計額	設定来: 0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド

比率	運用会社名	ファンド名	騰落率		
			1カ月間	3カ月間	6カ月間
24.7%	大和証券投資信託委託	ダイワ・バリュー株・オープン	+1.0%	+2.9%	+16.1%
9.9%	JPMオルガン・アセット・マネジメント	GIM日本株・ファンド	+1.4%	+1.3%	+16.9%
12.8%	大和証券投資信託委託	ダイワ好配当日本株投信Q	+0.5%	+4.0%	+12.3%
3.0%	シンプレクス・アセット・マネジメント	J Flag スモールキャップ・ファンド	+4.8%	+5.9%	+13.8%
5.0%	シンプレクス・アセット・マネジメント	スピリタス・ディステーション・ファンド	+4.1%	+7.5%	+19.9%
5.0%	T&Dアセットマネジメント	T&D/マイルストーン日本株ファンド	+2.8%	+4.3%	+13.7%
6.9%	大和住銀投信投資顧問	大和住銀ニッポン中小型株ファンド	-1.2%	+2.6%	-----
31.8%	大和証券投資信託委託	ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド	+1.6%	+2.2%	-----

*ファンド名は「(FOFs用)(適格機関投資家専用)」を省略しています。Qは四半期決算。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
 加入協会 日本証券業協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

【市況概況】

- 7月のTOPIX（東証株価指数、配当込み）は、1.4%の上昇となりました（注）。
- 国内株式市場は、月初は6月の日銀短観が市場予想を上回ったことを受けて上昇して始まったものの、ギリシャの国民投票で緊縮策の受け入れが拒否されたことや中国株式市場の急落などを受けたリスク回避姿勢の高まりから大きく下落しました。月半ばになると、ギリシャ支援策が基本合意に至ったことや中国株式市場が落ち着きを取り戻したことから、国内企業の4-6月期決算発表への期待などから上昇に転じました。月後半には、中国の景気減速に対する警戒感などを背景に軟調な展開となりましたが、月末には鉱工業生産が市場予想を上回ったことを受けて反発しました。
- 業種別では、空運業、電気・ガス業、食料品などで上昇した一方、鉄鋼、電気機器、機械などは下落しました。

【運用コメント】

- 7月の騰落率は+1.3%となりました。
- 「大和住銀ニッポン中小型株ファンド」は、機械や電気機器などのオーバーウエートに加えて、化学や陸運業などの銘柄選択がマイナス寄与して、軟調なパフォーマンスとなりました。また「ダイワ好配当日本株投信Q」は、小売業のアンダーウエートや、機械のオーバーウエートなどがマイナス寄与し、市場平均に比べて上げ幅が小さくなりました。一方、「スピリタス・ディスティレーション・ファンド」は、サービス業や電気機器などの銘柄選択がプラス寄与し、「J Flag スモールキャップ・ファンド」は、情報・通信業や小売業のオーバーウエートに加え、情報・通信業や電気機器などの銘柄選択がプラス寄与し、好調なパフォーマンスとなりました。
- 指定投資信託証券の組み入れは、高位に維持しました。

【今後の運用方針】

- 指定投資信託証券の組入比率は、高位を維持します。
- 運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率良く活かしたファンド配分をめざします。
- 長期的に安定的な運用をめざすため、ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう、組入ファンドの投資比率の調整を行っていきます。

（注）TOPIX（東証株価指数、配当込み）の騰落率の計算に当たっては、当ファンドにおける組入資産の評価時点に合わせて計算を行います。国内株式については、前月の最終営業日の前営業日から、当月の最終営業日の前営業日までの期間について計測をしています。

※TOPIX（東証株価指数）は東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。

投資対象	投資信託証券運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
国内株式	ダイワ・バリュー株・オープン 大和証券投資信託委託株式会社	■ 一貫したバリュー運用哲学の下で構築された運用プロセスに基づき、割安度を重視した銘柄選択を効率的に行うための組織体制が整備されており、運用リスクにも十分配慮したポートフォリオ構築が行われている。
	GIM日本株・ファンド JPMorgan・アセット・マネジメント株式会社	■ 独自の深い調査による長期業績予想をもとに、豊富な運用経験を持つ運用責任者と運用チームが合理的な投資判断を行っている。 ■ 厳しい運用環境でも揺らぐことのない運用哲学の下で、投資判断の基軸が保持されている。
	ダイワ好配当日本株投信Q 大和証券投資信託委託株式会社	■ 明瞭(めいりょう)な運用プロセスの下、配当等収益の確保に加えて割安度を重視した銘柄選択を行うための経験、組織体制および対応力を有している。
	J Flag スモールキャップ・ファンド シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社	■ ボトムアップ調査の徹底により、一貫して企業の中長期的な成長を探ることで適切な投資機会を捉えている。 ■ 豊富な経験、知識、運用ノウハウを持つ運用担当者により、多様な投資アイデアをもとにベンチマークに捉われず、トータルリターンを獲得が期待できる。
	スピリタス・ディスティレーション・ファンド シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社	■ 成長性の高さに着目し、リスク・オン時のけん引役となる『エマージング・グロース』と、成長性の確度に着目し、下落相場時のアンカー役となる『アーニングス・クオリティ』といった異なる2つのグロース・カテゴリーの組み合わせにより、相場環境に左右されずに安定的なパフォーマンスが期待できる。
	T&D/マイルストーン日本株ファンド T&Dアセットマネジメント株式会社	■ 豊富な運用経験を持つ運用者により、一貫した投資哲学に基づく運用が実践されている。 ■ ボトムアップによる徹底的な企業調査を行うとともに、株価形成の非効率性(需給の歪み、リスクプレミアムの変動、流動性リスクへの許容度)によって生ずる株価とファンダメンタルズとの乖離による投資機会を的確に捉えている。
	大和住銀ニッポン中小型株ファンド 大和住銀投信投資顧問株式会社	■ 一貫した投資哲学に基づいた運用により、中長期的に高い運用成果が期待できる。 ■ 深い知識と経験を有するファンドマネージャーによる徹底的なリサーチに基づいた銘柄選択に強み。
	ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド 大和証券投資信託委託株式会社	■ 明瞭で規律ある運用プロセスの下、効率的な運用が期待される。また、十分な経験を有する組織であり、継続性の確保が期待される。 ■ 大型寄りのポートフォリオであり、小型株にアゲインストな相場環境においてFoFsのパフォーマンスの下支えが期待される。

*ファンド名は「(FOFs用)(適格機関投資家専用)」を省略しています。Qは四半期決算。

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- 各ファンドの目的は、次のとおりです。

ファンド名	ファンドの目的
FW日本株式セレクト	わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW日本債券セレクト	わが国の債券に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。
FW外国株式セレクト	海外の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW外国株式EM+	
FW外国債券セレクト	海外の債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
FW外国債券EM+	
FW J-REITセレクト	わが国のリート（不動産投資信託）に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。
FW外国REITセレクト	海外のリート（不動産投資信託）に投資し、信託財産の中長期的な成長と配当等収益の確保をめざします。
FWコモディティセレクト	コモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。
FWヘッジFセレクト	絶対収益 ^(注) の獲得により、信託財産の成長をめざします。 (注)「絶対収益」とは必ず収益を得るという意味ではなく、市場等の動きに左右されない（相対的でない）収益、という意味です。

(※) 上記10本のファンドを総称して「ダイワファンドラップ専用投資信託」といいます。

ファンドの特色

- 「ダイワファンドラップ専用投資信託」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。
 - 「ダイワファンドラップ専用投資信託」の購入の申込みを行なう投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。
 - 「ダイワファンドラップ専用投資信託」を構成する各ファンドは、投資対象が異なり、投資信託証券への投資を通じて実質的な運用を行ないます。
FW日本株式セレクトは、複数の投資信託証券^(注)への投資を通じて、わが国の株式に投資します。
(注)以下、「指定投資信託証券」といいます。
 - 指定投資信託証券の選定、組入比率の決定は、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、これを行ないます。
 - FW日本株式セレクトは、わが国の株式を実質的な投資対象とする複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆下記は、平成27年5月29日現在の投資信託証券（指定投資信託証券等）の一覧であり、今後、名称変更となる場合、繰上償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合があります。
- FW日本株式セレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象	ベンチマーク
ダイワ・バリュー株・オープン (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和証券投資信託委託株式会社	わが国の株式	TOPIX (東証株価指数)
GIM日本株・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	JPMorgan・アセット・マネジメント株式会社		TOPIX (配当込み)
ダイワ好配当日本株投信Q (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和証券投資信託委託株式会社		—
J Flag スモールキャップ・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社		—
スピリタス・ディスティレーション・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社		—
T&D/マイルストーン日本株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	T&Dアセットマネジメント株式会社		—
大和住銀ニッポン中小型株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和住銀投信投資顧問株式会社		—
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和証券投資信託委託株式会社		—

◆ベンチマークについて

・TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《投資リスク》

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 0.4752% (税抜 0.44%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.24948%（税抜 0.231%）～年率 0.8856%（税抜 0.82%）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (平成27年2月時点)	年率 1.036±0.31%程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和投資信託** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <http://www.daiwa-am.co.jp/>